

初級日本語学習者向けアクセントのミニマル・ペア

松崎 寛

Minimal-pair of Accent for Japanese Language Learners at Elementary Level

Hiroshi MATSUZAKI

1. 目的

アクセントの聞き取り練習、発音練習には、型の違いが意味の違いを引き起こす「ミニマル・ペア」が利用されることが多い。だが、ミニマル・ペアに関して、土岐[1]には、次のような指摘がある。

発音練習と言えば、まず出されるのがこの方法である。例えば、スギとスギー（母音の長短）、オ $\bar{\text{a}}$ シとオ $\bar{\text{h}}$ シ（子音の[k]と[h]）のように発音上の違いが一所・一項目に限定されるところから聞き取りや発音の練習が簡単だとされ、広く普及している。中には、発音練習がすべてミニマル・ペアで占められているテープ教材すらあるが、この種の練習が学習者にとって常に最もやり易いものであるという絶対的な保証は実のところない。理由は、次のようなことによる。

一 目指す項目以外の音声的構成要素が入りにくいので、単調で他に逃げ場がなく、かえって学習者を緊張させてしまうことが少なくない。

二 ある単音を練習させるにしても、語頭にあるものだけでは不十分で、語中にあるもの、場合によっては語尾にあるものも用意しなければならぬが、それをすべて実在の単語で構成しようとするあまり、時として、誰も使わないような特殊な単語まで動員し、無理をしているものが少なくない。

三 右の欠点を補うために、無意味音節連続を導入したり、ミニマル・ペアを会話仕立てに工夫して「あのう、い $\bar{\text{a}}$ いと言ったんですか。」「いいえ、いい $\bar{\text{a}}$ いと言ったんです。」などのように練習させることもできるが、限界があり、学習意欲を誘発するものとするにはなかなか難しい。いつ、どのように使うかである。

(土岐[1]: pp.123-124)

ここでは、母音の長短と子音の対立が例としてあげられているが、特に2点目の「実在の語でミニマ

ル・ペア練習をしようとする、誰も使わないような語までが導入される」という指摘は、アクセントに関しても、経験的に言われている。

日本語のアクセントの同音語弁別力の弱さについては、実証的にも、史的音韻論の立場からも、多くの指摘がなされている。

宮地[2]は、国立国語研究所(1961)『同音語の研究』の「同音語集」約7,800語から、和語345組、漢語318組、洋語26組を抜き出し、アクセントの同音語弁別力は、特に漢語、洋語で同音同アクセント型の語が多いことから、9%弱(和語21.7%、漢語4.7%、洋語0%)だと結論した。

また、柴田・柴田[3]は、『例解新国語辞典』の同音語7,862語を対象として、「ある同音語が他の同音語と弁別される確率」は、同音語の語数に関わらず14%程度だと結論した。さらに柴田他[4]では、『NHK発音アクセント辞典』の同音語16,406語で再調査を行い、12%程度だと結論した。

たとえば『新明解国語辞典 第五版』には、次の22語の「コーショウ」が記載されているが、そのアクセントはすべて平板型で、他の型はない。

口承、口証、口誦、工匠、工廠、公称、公娼、
公証、公傷、交渉、好尚、考証、行賞、厚相、
咬傷、哄笑、校章、降将、高尚、高承、高唱、
斂床

弁別率9~14%という数値は、柴田・柴田[3]が同様の手法で計算した中国語の71.00%に比べると、問題にならぬほど低い。中国語も、音音レベルでの同音語は多く、望月[5]の辞典調査では、中国語35.0%、日本語36.4%で、ほぼ同じだが、アクセントを考慮すると、中国語は11.6%まで減るのに対して、日本語はそれほど減らない。

だが、これら先行研究の調査語彙には、「誰も使わないような特殊な単語」が多く含まれている。上述の「コーショウ」22語のうち、国立国語研究所『分類語彙表』所収の語は9語であり、使用率0.014パーミル以上の語は「交渉」のみである。辞書の全見出

しや学術用語では同音語が存在する場合でも、われわれが普段、ある語を聞いたとき、頭に上らない対立候補もあるだろうし、現実には誤解が生じ得ないような組もあるだろう。

そこで本研究では、語の重要度という観点を加味するとアクセントの同音語弁別力はどの程度になるか、そして初級学習者に指導する際、どの程度「無理のない」ミニマル・ペアを提出できるかを明らかにし、音声教育について考察することにする。

2. 方法

「誰も使わないような特殊な単語」を「日本語学習者に有益とは思われない未習語」とみなし、国際交流基金・財団法人日本国際教育協会(1994)『日本

語能力試験 出題基準』語彙のアクセントを[NHK 日本語発音アクセント辞典 新版](1998年4月発行)や『新明解国語辞典 第五版』(1997年11月発行)で調べ、データベースを作成した。

初級終了レベル(学習時間300時間程度)の語彙数は1,500語である。この3級語彙リストのミニマル・ペアについて調べた。しかし、初級学習者が、ある語のアクセントを誤った場合、他の語と誤解される可能性について調べるには、3級語彙内のペアに言及するだけでは不十分である。そこで、語彙量の上限を1級学習者の習得語数とみなし、同試験の1級語彙リストについても同様に調査を行った。

リストには、基本的に、食べ物、飲み物、スポーツ、動植物名や固有名詞は含まれない。また、動詞・形容詞等はすべて辞書形である。初級学習項目とい

表1 3級の同音語

	1拍語	2拍語	3拍語	4拍語	
A 区 別	3組 木①/気① 歯①/葉① 日①/火①	9組 置く②①/億① 切る①/着る②① 「はい、そうです。」①/そう[指示詞]① なる「~になる」①/鳴る②① はし「はしで食べる」①/橋② 花②/鼻① 春①/「切手をはる」②① 辺①/変① 夜①/寄る②①	2組 帰る①/変える③① 「電灯をつける」/「気をつける」 ②/漬ける③①	0組	14組
B 一 部					0組
C ゆ れ	0組	3組 「私のうち」①②/「この二つのうち」① 吹く①②/服② 「もう終わった」①①/「もう一つ」①	2組 暑い②/熱い② /厚い③①② 機械②/機会②①	0組	5組
D 同 ア ク セ ン ト	1組 「髪の毛」① /「毛のセーター」①	9組 合う①/会う① 開く②①/空く②① 居る②①/要る②① 風①/風邪① 紙②/髪② かみ(紙)②/かみ(髪)② 住む①/済む① 千①/線① 引く②①/弾く②① やる[「する」の意味]②① /やる[「あげる」の意味]②①	5組 「手を上げる」③① /「お祝いをあげる」③① いくら① /「いくら~でも」① くれる③①/暮れる③① 閉める②/締める② 止まる③①/泊まる③①	1組 易しい④①③ /優しい④① ③	16組
	4組	21組	9組	1組	35組

う点では、「呼んで①/読んで①」「買って③①/勝って①(/勝手①)」などの、動詞テ形等をリストに加えることも可能だが、一方、「飼う/買う」が、マス形で、同じ「かいます③」になること等を考慮すると、どこまで活用形を加えて計算するかには難しい問題が伴う。今回は、先行研究に倣って、辞書形のみを調査対象とした。

分析方法は宮地[2]に従い、A…アクセントにより完全に語の意味が区別されるペア、B…3語組以上の同音語の一部が同じ組となるペア、C…Dに近いが、一部にアクセントの「ゆれ」があるペア、D…同アクセント語のペア、と分類した。

3. 結果

3-1 3級語彙の結果

【出題基準】によれば、3級語彙リストは、初級用日本語教科書11冊の語彙調査をもとに作成されたものである。出題範囲は1,500語だが、一覧表には、1,315語が掲げられている。

ここから、「お〜」「〜個」「〜月」「〜冊」「〜ばかり」などの、単独で用いられにくい助数詞、接辞、造語成分を除いた。その結果、調査対象総語数は、1,249語となった。その中で、仮名見出しでペアを形成しうるものは、全部で113語あったが、項目間に意味的関連性が見られる場合、それらを「同音語」と見なすか、「多義語」と見なすかが問題となる。たとえば、3級語彙の「かける」では、「眼鏡をかける」「電話をかける」「壁に絵を掛ける」「いすに腰をかける」「親に心配をかける」の5例が別語として挙げられているが、これらは1級では同見出しに括られ、1語と数えられている。つまり多義語扱いだが、3級は初級日本語教科書から語を選定したため、別語扱いとなっている。

同音語と多義語との境界は曖昧で、辞典により見出しの立て方にも違いが見られるが、3級と1級で統一的基準を用いるため、ここでは、1級の「同一語」選定基準に従い、3級語彙をさらにしぼった。この基準は、国立国語研究所(1984)『日本語教育のための基本語彙調査』の方法に準じるものである。ただし本研究では、1級で同見出しの語でも、アクセントが異なるものは、別語の同音語と見なした。そこで、多義語としてまとめられる41語を除くと、72語、35組の同音語が残る。

結果を表1に示す。アクセントにより完全に語の

意味が区別されるAは、14組で40.0%となるが、母集団が小さいので、この数値に大きな意味はない。

3-2 1級語彙の結果

【出題基準】によれば、1級試験の語彙リストは、国立国語研究所の語彙調査報告書をもとに作成されたものである。出題範囲は10,000語だが、リストには7,800語が掲げられている。1級の出題範囲は2・3・4級をカバーするのが建前だが、実際には、「朝御飯」「交通事故」「外国人」「今週」「大小」「病室」…などの、「構成成分を見れば語の意味の類推がつく語」は、含まれていない。

この7,800語から接尾辞類を除くと、7,522語が残る。そのうちの13.6%である1,025語が同音語である。同音語が全語彙中に占める割合は、望月[5]では36.4%、柴田他[4]では24.9%であり、今回の数値は、これよりかなり少ない。

結果を表2に示す(組数のみ。語例は巻末付録に拍数別に挙げる)。アクセントにより完全に語が弁別されるAは、87組で19.4%となる。

5拍以上の同音語は、今回の資料には見られなかった。柴田ほか[4]には、同音語は拍数が少ないものに多いとの指摘があり、宮地[2]には、弁別がなされるものが多いのは2拍和語だとの指摘があるが、今回の結果も同様となった。

表2 1級の同音語

	1拍	2拍	3拍	4拍	
A 区別	3	46	28	10	87
B 一部	8	26	12	5	51
C ゆれ	4	12	11	4	31
D 同ア	9	82	90	98	279
	24	166	141	117	448

4. 考察

調査対象を基本語彙に絞ると、同音語の含有率は減り、アクセントの弁別力は、先行研究の9~13%より少し多い約19%となる。ミニマル・ペア練習が可能という点では、BやCの一部も利用できるから、ペア自体は、150組程度は作れるであろう。

ただ、ミニマル・ペア練習は、語単位だけではなく、文単位でも行う必要があるが、これらのうち、自然な同じ文脈が想定できるペアは少ない。現実の会話では、文脈の助けが同音語の弁別に役立っている

るわけだが、音声教育では逆に、語の属性の違いを無視するために、

・山田さんは「〇〇。」と言いました。

のような文を用いて練習を行うことがある。引用文は確かに、すべての品詞が表現可能となる、教師にとって便利な道具だが、このような「文」練習は、会話能力育成にはつながりにくい。ミニマル・ペアに囚われる必要は必ずしもないが、その効果的な利用法に関しては、より多くの議論が必要であろう。

ここで、この「ミニマル」の持つ意味を、アクセント以外の例から考察してみる。たとえば、単音の問題点としてよく挙げられる、/ず//ズ//ぜ//ソ/・/ジャ/ /ジュ//ジェ//ジョ/の区別であるが、3級語彙内には、これらのミニマル・ペアはない。1級語彙内では、/ソ/・/ジョ/で、「激増・劇場」「現像・現状」「構造・向上」「象(像)・上」「心臓・心情」「製造・正常」「増加・城下」「増強・状況(上京)」の8組18語ができるのみである。もう少し広げて、出題範囲内の語と範囲外の語(*を付す)とでペアを探すと、「*愛憎・愛情」「*肝臓・感情」「*座・じゃ」「*雑感・若干」「*地蔵・事情」「*実像・実状」「*造園・上演」「*雑木・*上気」「*臓器・蒸気」「*雑巾・*常勤」「*造成・情勢」「*造船・*乗船」「*想像・*相乗」「*贈答・上等」「*増発・蒸発」「*増補・譲歩」の16組が加わる。その程度でしかない。また、「激増する」の/ソ/が/ジョ/になっても「劇場する」がない以上、誤解の危険性はさらに少なくなる。

では、なぜこれらの区別が重要だと言われるのか。一つには、これが感情的評価に関わる問題だということがある。発音の悪さが、「聞いていて疲れる」「子供っぽい」等の負の評価に結びつく場合は、指導が必要となる。つまり「どうぞ」を/ドージョ/と発音しても、意思疎通の妨げにはならないが、感情的評価で損をする可能性があるということである(無論、学習の動機づけに「発音が悪いと意味が通じなくて困る」という理由を利用することは、大切である)。

もう一つは、「どうぞ」の/ソ/が正しく発音されることで、「同情」「土壌」「登場」「途上」…などの、アクセント、母音の長短、清濁が絡む他の語と誤解される危険が減っているということがある。現実の学習者の誤りは、「ミニマル」ではなく、様々な要素が複合して生じているのであり、実は、/ソ//ジョ/も語の意味の区別に役立っている可能性がある。

このことは、理論面から単音やアクセント等に関して、各々単独で弁別力の数値を出し、機能につい

て論ずることの限界も意味している。単音や特殊拍のミニマル・ペアを考える際、アクセントを統一することは暗黙の了解になっているが、そこで黙殺される「アクセントも清濁も異なるペア」や「アクセントも母音の長短も異なるペア」は、現実の学習者の発音の誤りに観察されるものであり、逆に、アクセントを正しく発音すれば、清濁や母音の長短の一方に解釈される可能性は減るのかもしれない。

よって、アクセントの発音練習に際しては、「意味の違いを担う」「ただ一点の違い」だけに拘泥せず、学習者にとって有益な、誤りやすい語のペアを用いることが大切となると言えよう。

ところで、「アクセントの同音語弁別力の弱さ」について論じるには、次の二つの観点がある。

- A 意味が違う語なのに、語音が同じ、型も同じ
- B 意味が同じ語で語音も同じだが、違う型で発音されることがある

本研究はAによるものだが、Bの「ゆれ」に関しては今後の課題である。さらに広げて、学習者がアクセントを誤ったとき、それがどの程度、意思疎通に支障を与え、あるいは許容されるのかを調査することは、韻律指導のシラバス整備のために有効である。また、意味の違いを担うペアと、そうでないペアとの間で、聴取者の評価に差が出るかどうか、実証的に論じる必要があると考えられる。

【付記】 本研究は、平成9年度科学研究費補助金奨励研究(A)「効果的な韻律指導のための教授項目に関する研究の研究成果の一部である。

参考文献

- [1] 土岐哲(1989)「音声の指導」【講座日本語と日本語教育】13, 明治書院
- [2] 宮地裕(1966)「同音語のアクセント」【国語国文】35-6
- [3] 柴田武・柴田里程(1990)「アクセントは同音語をどの程度弁別しうるか」【計量国語学】17-7
- [4] 柴田武・杉藤美代子・柴田里程・高際陸(1994)「アクセントの同音語弁別力—東京アクセントと大阪アクセント—」【計量国語学】19-6
- [5] 望月八十吉(1974)【中国語研究学習双書13 中国語と日本語】光生館

【付録】1級の同音語一覧(「A1」は、表2の「Aの1拍語」を表す。①は核無し、①②等は核の位置を表す)

A 1

こ(粉)①/(子)①
さ(差)①/さ[感]①
ち(血)①/(地)①

A 2

あか(垢)②/(赤)①
あき(秋)①/(明・空)①
あさ(朝)①/(麻)②
あめ(飴)①/(雨)①
いき(粋)①/(息)①
いじ(意地)②/(維持)①
いま(居間)②③/(今)①
うむ(産)②③/(有無)①
おい(甥)①/おい[感]①
おん(恩)①/(音)①
かう(飼)①/(買)②③
かし(菓子)①/(貸)①
かち(価値)①/(勝)②
きみ(気味)②/(君)①
きり(切)②/(霧)①
きる(切・斬)①/(着)②③
くむ(汲・酌)②③/(組)①
ここ(個々)①/ここ[指]②③
こと(琴)①/(事)②
した(下)①/(舌)②
じょう(上)①/(情)①
しる(汁)①/(知)②③
しろ(城)①/(白)①
すき(隙)①/(好)②
せき(咳)②/(席)①②
たけ(丈)②/(竹)①
たま(玉・球・弾)②/(偶)①
ちゅう(中)①/(注)①
とし(都市)①/(年)②
なみ(波)②/(並)①
ねる(寝)②③/(練)①
はし(橋)②/(端)①/(箸)①
はな(花)②/(鼻)①
はる(春)①/(貼・張)②③
ばん(晩)①/(番)①

ふり(振)②/(不利)①
ふる(降)①/(振)②③
へん(変)①/(辺)①
ほう(方)①/(法)①
みち(道)①/(未知)①
むし(虫)①/(無視)①
むら(村)②/(斑)①
もる(盛)②③/(漏)①
やむ(止)②③/(病)①
よく(欲)②/よく「よくでき

ます」「よく行きます」①

わん(碗・碗)①/(湾)①

A 3

あたり(当)①/(辺)①
いけん(意見)①/(異見)①
いぜん(以前)①/(依然)①
いつか(何時)①/(五日)①
いらい(以来)①/(依頼)①
うえる(飢)②/(植)③④
いじょう(以上)①/(異常)①
かえる(代・替・換・変)③④
/返・帰)①
かんご(漢語)①/(看護)①
きのう(機能)①/(昨日)②③
クラス①/くらす(暮)③④
けいじ(刑事)①/(揭示)①
じどう(児童)①/(自動)①
しまい(姉妹)①
/しまい「終わり」①

せいし(生死)①/(静止)①
せいしょ(清書)①/(聖書)①
つうか(通貨)①/(通過)①
てんか(天下)①/(点火)①
でんき(伝記)①/(電気)①
ならす(慣・馴)②/(鳴)③④
はれる(腫)③④/(晴)②
ふさい(夫妻)①②/(負債)①
へいき(兵器)①/(平気)①
みかた(見方)②③/(味方)①
ようい(容易)①/(用意)①
ようき(容器)①/(陽気)①
ようご(用語)①/(養護)①
ようし(用紙)①/(要旨)①

A 4

かんじょう(勘定)③/(感情)①

けっこう(決行)①/(結構)①
けんとう(検討)①/(見当)③
こうがい(公害)①/(郊外)①
こうじょう(工場)③/(向上)①
しょうがい(障害)①/(生涯)①
せんせい(先生)③/(専制)①
ちゅうせい(中世)①/(中性)①
はいけい(拝啓)①/(背景)①
きゅうりょう(丘陵)①/(給料)①

B 1

い(意)①/(異)①/(胃)①
え(っ)[感]①/(絵)①/(柄)①
か(可)①/「火曜」①/(課)①
/蚊)①
し(四)①/(市)①/(師)①
/死)①/(氏)①/(詩)①
と(戸)①/(都)①/と[接]①
ね(え)[感]①/(根)①
/音)①/(値)①
は(齒)①/(刃)①/(葉)①
ひ(火・灯)①/(日)①/(碑)①

B 2

あく(悪)①/(開)②③/(空)②③
いし(意思・意志)①/(医師)①
/石)②
いち(一)②/(位置)①/(市)①
いる(居)②③/(煎・炒)①
/要)②③
おく(奥)①/(億)①/(置)②③
かく(格)②③/(角)②/(欠)②③
①/(核)①/(書)①/(掻)①
/「汗を～」①/「恥を～」①
かた(型)②/(方)②/(肩)①
かみ(加味)①/(神)①
/紙)②/(上)②/(髪)②
かり(に)[名・副]①/(借)①
/狩)①
かん(勘)①
/官)①/(管)①/(缶)①
こす(越・超)②③/「引っ
越す」②③/「水を～」①
さく(咲)②③/(柵)②/(作)①②
/策)②③/(裂)①
じき(直)①/(時期)①

／(磁器)①／(磁気)①
じょし(助詞)②

／(女史)①／(女子)①
すみ(隅・角)①／(済)①／(墨)②
する(為)②②／(刷)①／(擦)①
ぜん(善)①／(禅)①／(膳)②
たび(足袋)①／(度)②／(旅)②
なる(為・成)①／(生)①／(鳴)②②
のう(惱)①／(能)②／ノー(no)①
はい(灰)②／(肺)②／はい[感]①
はく(掃)①／(吐)①／(履)②②
へる(経)①

／(減)②②／「腹が～」②②
まく(蒔・撒)①

／(巻)②②／(幕)②／(膜)②
やく(焼)②②／(役)②

／(訳)②①／(約)①
よる(因)②②／(寄)②②／(夜)①

B 3

あつい(厚)③②②／(暑)②／(熱)②
いこう(以降)①

／(意向)②／(移行)②
かける(掛)②／(駈)②／(賭)②

／(欠)③③
かせん(下線)②／(化繊)②

／(河川)①
きかん(器官)①②／(期間)①②

／(機関)①②／(季刊)②
きげん(期限)①／(起源)①

／(機嫌)②
けいき(契機)①／(計器)①

／(景気)②
しかく(四角)③

／(視覚)②／(資格)②
じしん(自信)②／(地震)②

／(自身)①
じたい(字体)②

／(事態)①／(辞退)①
しめる(湿)③③

／(占)②／(締)②／(閉)②
どうし(動詞)②

／(同士)①／(同志)①
B 4

かいほう(介抱)①
／(解放)②／(開放)②

こうかい(後悔)①／(航海)①
／(公開)②

こうぎょう(興業)②
／(工業)①／(鉱業)①

しょうにん(商人)①
／(承認)②／(証人)②

せいめい(姓名)①／(生命)①
／(声明)②

C 1

き(気)①②／き(木)①
ご(五)①／(語)①

／(後)①②／(暮)②①
に(荷)②①／(二)①

ぶ(部)①②／(分)②
C 2

うち(内・家)②②／「三つの～」②
おす(押)②②／(雄)②

がく(学)①／(額)①②②
きょく(曲)②②①／(局)①

こう(甲)①／こう[指]①②②
じしゅ(自主)①／(自首)②①

たく(炊・焚)②②／(宅)②
はら(原)②①／(腹)②

ふく(吹)①②
／(拭)②②／(服)②／(福)②

また(股)②／(又)②②
わく(沸・湧)②②／(杵)②

れい(例)①／(礼)①②／(零)①
C 3

あまり(余)[副]③③
／あまり(余)[名]③

ふきん(付近)①②／(布巾)②
いがい(以外)①／(意外)②①

いりょう(衣料)①／(医療)①②
おおい(多)①②／おおい[感]①

きょうじゅ(享受)①／(教授)②①
くらい(暗)③②②／(位)②

たとえ(例)②③③／たとえ[副]③
ほうき(放棄)①／(箒)①②

まかす(任)②／(負)③②②
むこう(向)②②／(無効)②

C 4

げんてん(原典)②①／(原点)①②
／(減点)②

しょうてん(商店)①／(焦点)①②
しょうひん(商品)②①／(賞品)②
どうじょう(同情)②／(道場)①②

D 1

く(九)①／(句)①／(苦)①
け「毛:hair」②／け「毛:wool」②

しゅ(主)①／(種)①
す(酢)①／(巢)①

た(田)①／(他)①
ど(度)①／「土曜」①

み(実)②／(身)②
め(芽)①／(目)①

よ(世)①／(夜)①
D 2

あと(後)①／(跡)①／あと[接]①
いえ[感]②／(家)②

いぎ(意義)①／(異議)①
いと(意図)①／(糸)①

いど(緯度)①／(井戸)①
うん(運)①／うん[感]①

おう(追)②②／(負)②②
おる(居)①／(織)①／(折)①

かい(会)①／(回)①／(貝)①
おや(親)②／おや[感]②

おり(折)②／(檻)②
かじ(家事)①／(火事)①

かつ(且)①／(勝)①
かね(金)②／(鐘)②

から(鼓)②／(空)②
かわ(川・河)②／(皮・革)②

きじ(記事)①／(生地)①
きしゃ(汽車)②①／(記者)①②

きゅう(球)①／(級)①
／(旧)①／(九)①

きょう(強)①／(今日)①
きん(菌)①／(金)①／「金曜」①

ぐん(群)①／(軍)①／(郡)①
けい(刑)①／(計)①

けん(件)①／(券)①／(県)①
こい(濃)①／(恋)①

ごく(極)①／(語句)①
さす(刺・差・指・挿・注・射)①

／さす「傘を～」①
さる(猿)①／(去)①

しお(塩)②/(潮)②
しき(四季)②①/(指揮)②①
/ (式)①②
しじ(指示)①/(支持)①
しま(縞)②/(島)②
しも(下)②/(霜)②
しゅう(州)①/(衆)①/(週)①
じゅう(住)①/(十)①/(銃)①
しょう(小)①/(章)①/(賞)①
すむ(住)①/(澄・清)①
せい/せ(背)①/(所為)①/(姓)①
/ (性)①/(正)①/(生)①
せつ(説)①/(節)①
ぞう(象)①/(像)①
そう(僧)①/(相)①
/ (そう[指・副・感]①
そこ(底)①/そこ[指]①
そば(蕎麦)①/(側)①
そる(剃)①/(反)①
たい(対)①/(隊)①
だい(台)①/(大)①/(題)①
たつ(経)①/(断)①
/ (発)①/(立・建)①
たて(縦)①/(盾)①
ちち(乳)①②/(父)①②
ちょう(腸)①/(蝶)①
つき(月)「month」②/「moon」②
つぐ(継)②①/(次)②①
/ (接)②①/(注)②①
つく(突)①②①
/ (付・着・就・点)①②①
つむ(積)②①/(摘)②①
つり(釣)「fishing」①/(釣)「釣銭」①
ただ(只・唯)①/ただ「無料」①
つる(吊)②①/(釣)「fishing」②①
とう(党)①/(塔)①/(棟)①
どう(胴)①/(銅)①
/ (どう[指・副]①
とも(共)①/(友)①
なか(中)①/(仲)①
にち(日)「日本」①/「日曜」①
にる(似)②①/(煮)②①
のる(載)②①/(乘)②①
バス①/「風呂」①
はち(八)②/(鉢)②

ばつ(×)①/(罰)①
はん(半)①/(判)①
/ (斑)①/(版)①
ひく(引)②①/(彈)②①/(磔)②①
ひょう(票)①/(表)①
びん(瓶)①/(便)①
ぶん(分)①/(文)①
ほる(掘)①/(彫)①
まつ(待)①/(松)①/(末)①
ミス「Miss」①/「miss」①
むく(向)②①/(剥)②①
めん(綿)①/(面)①
もと(基・素)②①/(元)②①
やる「あげる」②①
/ (やる「する」②①
よう(様)①/(用)①
よし(良)①/よし[感]①
りょう(寮)①/(量)①
D 3
あおぐ(仰)②/(扇)②
あてる(宛)③①/(当)③①
いいん(委員)①/(医院)①
いくら～ても①/いくら(幾)①
いどう(移動)①/(異動)①
うつす(移)②/(写・映)②
うつる(移)②/(写・映)②
おかす(侵)②③①/(犯)②③①
おこる(起)②/(怒)②
かこう(下降)①
/ (加工)①/(火口)①
かいろ(回路)①/(海路)①
かえず(帰)①/(返)①
かがく(化学)①/(科学)①
がっき(学期)①/(楽器)①
かてい(仮定)①/(家庭)①
かてい(課程)①/(過程)①
かれる(枯)③①/(涸)③①
かんじ(感)①/(漢字)①
かんわ(緩和)①/(緩和)①
きかい(機会)②/(機械・器械)②
きかく(企画)①/(規格)①
ききん(基金)①②/(飢饉)①②
きけん(危険)①/(棄権)①
きこう(機構)①/(氣候)①
きしょう(氣象)①/(起床)①

きたい(期待)①/(気体)①
きゅうそく(休息)①/(急速)①
きょうか(強化)①/(教科)①
きょうぎ(競技)①/(協議)①
きんし(禁止)①/(近視)①
くれる③①/(暮)③①
けいひ(敬意)①/(経緯)①
ケース「場合・状況」①/[箱]①
こうい(好意)①/(行為)①
こうか(効果)①/(硬貨)①
/ (高価)①
こうぎ(抗議)①/(講義)①
こうしゃ(後者)①/(校舍)①
コート「coat」①/「court」①
こじん(個人)①/(故人)①
さける(避)②/(裂)②
さます(覚)②/(冷)②
さめる(覚)②/(冷)②
さわる(障)③①/(触)③①
さんか(参加)①/(酸化)①
しきゅう(支給)①/(至急)①
しこう(志向)①/(思考)①
/ (施行)①/(嗜好)①
してん(支店)①/(視点)①
じてん(自転)①/(辞典)①
しばう(志望)①/(死亡)①
/ (脂肪)①
しみる(染)③①/(滲)③①
しめい(使命)①/(氏名)①
しよう(仕様)①
/ (使用)①/(私用)①
しゅうし(収支)①
/ (修士)①/(終始)①
しんり(心理)①/(真理)①
すくう(救)③①/「水を～」③①
すます(濟)②/(澄・清)②
せいき(世紀)①/(正規)①
そうさ(捜査)①/(操作)①
たいか(退化)①/(大家)①
ダイヤ/ダイヤグラム①
/ (ダイヤ/ダイヤモンド)①
たえる(絶・断)②/(耐・堪)②
たしか(確)①/「～3年前だった」①
たんか(担架)①/(短歌)①
たんき(短期)①/(短気)①

ちゅうしょう(中傷)①/(抽象)①
てんこう(天候)①/(転校)①
てんさい(天才)①/(天災)①
てんでん(転々)③①/(点々)①③
ちゅうしゃ(注射)①/(駐車)①
ていか(低下)①/(定価)①
とじる(綴)②/(閉)②
のせる(載)③①/(乗)③①
のぞむ(望)③①/(臨)③①
はえる(映)②/(生)②
はかる(計・量・測)②
/(諮)②/(図)②
はっしゃ(発射)①/(発車)①
はなす(離・放)②/(話)②
ひなん(避難)①/(非難)①
ふくし(副詞)①/(福祉)①
ふける(更)②/(耽)②/(老)②
ふごう(富豪)①/(符号)①
ふしん(不審)①/(不振)①
ふじん(夫人)①/(婦人)①
ふつう(不通)①/(普通)①
ぼうし(帽子)①/(防止)①
ほけん(保健)①/(保険)①
ほこり(挨)①/(誇)①
ほしょう(保証)①
/(保障)①/(補償)①
めいし(名刺)①/(名詞)①
ゆうき(勇氣)①/(有機)①
D 4
あやまる(誤)③/(謝)③
いためる(傷)③/(妙)③
いったい(一帯)①/(一帯)①
かいしゅう(回収)①/(改修)①
かいせい(快晴)①/(改正)①
かいそう(回送)①/(階層)①
かいだん(会谈)①/(階段)①
がいたう(該当)①/(街頭)①
かくしん(確信)①/(革新)①
かくりつ(確率)①/(確立)①
かんかく(感覺)①/(間隔)①
かんこう(刊行)①
/(慣行)①/(觀光)①
かんしょう(干涉)①/(鑑賞)①
かんしん(感心)①/(關心)①
かんせい(完成)①/(歓声)①

かんせん(幹線)①/(感染)①
かんそう(乾燥)①/(感想)①
かんよう(寛容)①/(慣用)①
かんりょう(完了)①/(官僚)①
きょうかい(協会)①
/(境界)①/(教会)①
きゅうこう(休講)①/(急行)①
きょうこう(強硬)①/(強行)①
きょうしゅう(教習)①/(郷愁)①
きょうちょう(協調)①/(強調)①
きょうりょく(協力)①/(強力)①
きんこう(均衡)①/(近郊)①
くわえる(加)④①/(旺)④①
けいかい(軽快)①/(警戒)①
けいせい(形勢)①/(形成)①
けいたい(形態)①/(携帯)①
けっかん(欠陥)①/(血管)①
けっしょう(決勝)①/(結晶)①
げんこう(原稿)①/(現行)①
げんしょう(減少)①/(現象)①
こうえん(公園)①
/(公演)①/(講演)①
こうきょう(公共)①/(好況)①
こうこう(孝行)①/(高校)①
こうさく(工作)①/(耕作)①
こうしゅう(公衆)①/(講習)①
こうしょう(交渉)①/(高尚)①
こうすい(降水)①/(香水)①
こうせい(公正)①/(構成)①
こうそう(抗争)①
/(構想)①/(高層)①
こうたい(後退)①/(交替)①
こうてい(校庭)①/(肯定)①
こうどう(行動)①/(講堂)①
こうどく(講読)①/(購読)①
こうはい(後輩)①/(荒廢)①
こうひょう(公表)①/(好評)①
こうふく(幸福)①/(降伏)①
さいきん(最近)①/(細菌)①
さいさん(再三)①/(採算)①
さいしゅう(最終)①/(採集)①
さんせい(賛成)①/(酸性)①
しゅうかん(習慣)①/(週間)①
しゅうしょく(就職)①/(修飾)①
じゅうたい(渋滞)①/(重体)①

しゅうりょう(修了)①/(終了)①
じょうきょう(上京)①/(状況)①
しょうたい(招待)①/(正体)①
しょうめい(照明)①/(証明)①
しんこう(信仰)①/(振興)①
/(新興)①/(進行)①
じんこう(人口)①/(人工)①
しんこく(深刻)①/(申告)①
しんせい(申請)①/(神聖)①
しんちょう(慎重)①/(身長)①
すいせん(推薦)①/(水洗)①
すすめる(勸)④①/(進)④①
せいかく(性格)①/(正確)①
せいこう(成功)①/(精巧)①
せいさく(政策)①/(製作・制作)①
せいさん(生産)①/(精算)①
せいそう(清掃)①/(盛装)①
せいとう(政党)①/(正当)①
せいねん(成年)①/(青年)①
せいふく(制服)①/(征服)①
せんこう(先行)①
/(専攻)①/(選考)①
ぜんしん(前進)①/(全身)①
せんたく(洗濯)①/(選択)①
せんとう(先頭)①/(戦闘)①
そうさく(創作)①/(搜索)①
そうぞう(創造)①/(想像)①
たいしょう(対照)①/(対象)①
たいせい(体制)①/(態勢)①
だいべん(代弁)①/(大便)①
はんえい(反映)①/(繁榮)①
はんらん(反乱)①/(氾濫)①
へいこう(平行)①
/(並行)①/(閉口)①
ほうさく(方策)①/(豊作)①
ほうそう(包装)①/(放送)①
みんぞく(民俗)①/(民族)①
もうける(設)③/(儲)③
もつとも(最)③/(尤)③
やさしい(易)③①/(優)③①
ゆうこう(友好)①/(有効)①
ようせい(要請)①/(養成)①
りょうかい(了解)①/(領海)①
けんめい(懸命)①/(賢明)①